

練馬区議会議員(無所属)

かとうき桜子

区政レポート



2018年1月号

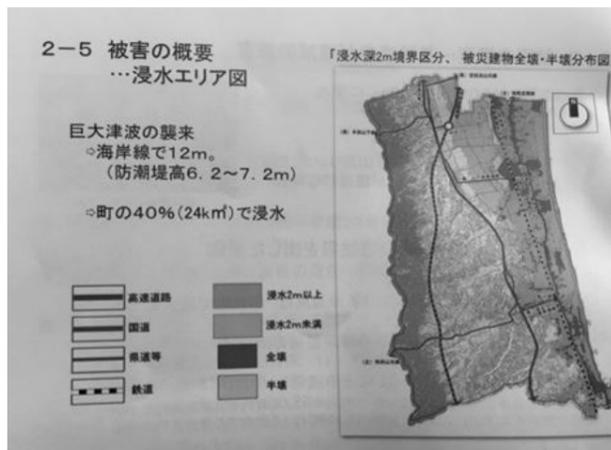
(議会報告通号 Vol. 114)

〒178-0063 練馬区東大泉 3-1-18-102
電話 03-3978-4154 FAX03-3978-4158
HP <http://www.sakurako-nerima.com/>
メール sakurako_happy_society@yahoo.co.jp



メールマガジン発行中!

区議会・総合災害対策等特別委員会の視察に行きました(2017年11月、宮城)



写真左：山元町の資料 右：亶理町役場 (現在もプレハブ)

二〇一八年一月

かとうき 桜子

進んでいる現状があるのだから感じています。

一方で、確実な「正解」が見えない中でも復興に向けて進まなければならない現実もあり、それぞれの立場の人が悩み苦しみながら前に向かって

暮らして来た土地を離れなければいけない当事者にとってはそう簡単な話ではないということ。津波の被害に遭ったふるさとの地域が「危険区域」と指定されることに對する悔しさや悲しみといった複雑な思いを、耳にすることはよくあります。

確かに安全な場所にみんなが移転して暮らすほうが、防災の観点からも高齢化の観点からも考えても良いのではないかと思いがちですが、今まで

山元町は、2011年2月末の段階で人口1万6千695人の町で、震災で637人がお亡くなりになったそうです。避難所数は19ヶ所、避難者数は5千826人。町の40% (24km²)、農地面積の60% (1400ha) が津波で浸水し、各産品のイチゴとホッキに影響を与えたそうです。JR常磐線のエリアも被害に遭い、約1km内陸に駅を再建させて2016年12月10日に運転再開しました。2017年10月末の人口は1万2千439人で、減少傾向にあるということでした。町内3地域に住まいを集約するコンパクトなまちづくりを進めているそうですが、町外へ移転する人も多いとのことでした。

山元町のお隣の亶理町は、2011年の震災後から練馬区が職員を派遣しています。2010年の国勢調査時の人口は3万4千845人。震災でお亡くなりになった人は306人。亶理町も、町の面積の48%が浸水したそうです。2015年時の国勢調査では人口は3万589人だそうです。

印象に残った話は、津波の被害にあった場所のうち、どの場所は今後住めるのか、どこに住まないほうが良いのかという線引きをする難しさについてです。気仙沼に行ってお話を伺っていても感じるのですが、「住む場所」を決めることはとても重要なということを改めて考えさせられました。

2016年市民ふくしフォーラム活動報告冊子が完成しました

1冊400円で販売しています。

市民ふくしフォーラムでは1年の間に行なった区政報告会や勉強会などの記録をまとめた冊子を作っています。このたび、2016年の活動報告冊子が完成しました。52ページの冊子で400円です。市民ふくしフォーラムの会員(年会費1000円)になってくださった方には1冊差し上げます。

- 内容は、
- ・3回実施した区政報告会
 - ・ハンセン病資料館見学
 - ・ふくしまの美味しいシネマルシェの様子
 - ・水俣病に関する勉強会
 - ・東北に行ったときの様子

などです。お申し込みは、振込用紙で以下にお振込みいただき、通信欄に「会費」または「冊子希望」とご記入ください。ご記入いただいたご住所あてにお届けいたします。



【振込先】

【郵便振替口座(振込用紙)】 市民ふくしフォーラム 00130-2-496362

【銀行振り込み】 ゆうちょ銀行 ○丸店 当座 0496362 シミンフクシフォーラム

※銀行からのお振込みの場合は、送付先ご住所・お名前を別途かとうき桜子事務所までメールかFAXにてご連絡ください。

区議会定例会は2月2日～3月9日の予定です。

練馬区議会の今年最初の定例会は、2月2日からの予定です。今回の定例会は、来年度予算の審査をします。予算特別委員会では、私も毎日様々なテーマで質問する予定です。質疑の内容はブログに掲載しますので、ぜひご覧ください。

来年度は、介護保険計画や障害者計画などが新しく策定される時期でもあります。また、4月には区長選挙が予定されており、その前の最後の定例会ともなります。

1月中は定例会はなく、何度か委員会の会議が開かれる形です。この期間は、定例会に向けての準備をしていきます。

駅でのレポート配布について

かとうき桜子は、月に1回のペースで新しい区政レポートを作成しています。視察など遠出をする場合などに間があくこともありますが基本的に1ヶ月で1めぐりするように、おおむね以下のようなスケジュールで朝の通勤時間帯(7時～8時30分頃)に駅前配布しています。

- ・毎週月曜日：大泉学園駅北口
(喫煙所の近く、駅正面のドトール前、グランエミオのビルの近く、みずほ銀行の近くの4ヶ所を順番に回っています。月曜日が祝日だったり、月曜日に視察等があり都合がつかないときには曜日を変更する場合があります。)
- ・月2回、火曜日：大泉学園駅南口(1階ロータリーと2階デッキ)
- ・水曜または木曜のうち月3回：保谷駅北口と南口(北口正面、線路沿いの道、南口西友前)
- ・月3回、金曜日：石神井公園駅(中央改札側の駅正面と高架下と、西口改札付近)

かとうき桜子プロフィール

- 1980年生まれ。現在、区議会議員3期目。
- 慶応義塾大学文学部に在学中、ホームヘルパー2級の資格を取得
- 大学卒業後、夜間の上智社会福祉専門学校に入学、社会福祉士取得
- NPOで介護の仕事をする中で、地域福祉・地域社会にさらに深く幅広くかかわる必要性を感じ、2007年区議会議員選挙に初挑戦、当選
- 公立保育園の民営化問題に疑問を感じ、区議の活動のかたわら立教大学大学院・21世紀社会デザイン研究科にて研究。2010年修了
- 2012年、検診で子宮頸がんが見つかり治療。女性の健康へのとりくみの必要性についても政策提言
- 大泉学園町4丁目に猫3匹と夫と住んでいる



法改正を機に、練馬区の自殺対策の充実を

自治体の役割を重視した自殺対策基本法の改正

自殺対策基本法が施行されて10年目となる2016年、大きな法改正が行なわれ、市区町村が自殺対策計画を立てることになりました。

自殺対策基本法ができてからの10年の間で「自殺は社会で解決すべき課題」という認識は広がったものの、各地域における取り組みには温度差があり、練馬区はどちらかというと「国から言われる必要最低限のことをしている自治体」であると私は捉えています。

私は議員になってから、機会あるたびに自殺対策の充実を提案していますが、区独自の施策はあまり見られませんが、23区の取り組みには、先駆的な対策を進める足立区や、若年層のサポートを進める荒川区、すでに独自の計画づくりをしている港区などもあります。2年前に私が、なぜもっと積極的な取り組みをしないのかと質問した際、当時の担当者は、「先駆的な取り組みをしている自治体と比べ、練馬区の自殺者数はそんなに多くないから」という言い訳を述べました。しかし、練馬区では毎年100名を超える方が自殺で亡くなっており、それは決して少なくはありませんし、そもそもこの問題は人数の多

寡に関わらず真剣に取り組むべき問題なのではないでしょうか。とても残念な答弁でした。

今後、法改正を受けて東京都の新しい計画が示される予定なので、区が具体的な計画を作るのはそれからになります。ただそれを待っているだけではいけません。

今回、区としての計画を作ることを契機として、改めて今までの練馬区にできなかったことを精査し、早急に取り組むべきという観点で、昨年議会で質問した内容を紹介します。

自殺者数は減少傾向にあるものの課題は多く残っている

日本の自殺者数は1998年から毎年3万人を超える状態が続いてきました。2006年に自殺対策基本法が施行され、2012年に自殺者数はようやく3万人を切りましたが、先進諸国と比べるといまだ自殺率は高い状況にあります。

2016年、自殺対策基本法が改正され、2017年7月には自殺対策大綱が閣議決定されました。大綱では、「当面の目標として2026年までに、2015年の自殺者数と比べ30%以上減少させること」としています。できるだけ早期に目標達成させることをめざし、

達成された場合は当初の見直し期間より前であっても、さらに目標を立て直すこととされています。また、東京都では自殺総合対策東京会議が開かれて、法改正後の都の事業の進め方について議論がされています。

生きるための総合的なサポート体制の確立が必要

今回示された自殺対策大綱には、「自殺は、人が命を絶つ瞬間的な行為としてだけでなく、人が命を絶たざるを得ない状況に追い込まれるプロセスとして捉える必要がある」との記載があります。生きるのが辛くなっている区民の置かれた状況をどう改善できるか、生活上の困りごとを抱えて行き場のない状態になった区民を見逃さない相談支援体制づくりという観点で、練馬区としても自殺対策に取り組むべきと考えます。

質問内容の概要は左記のようなものですが、区からの回答は「これから検討する」というものが多く、あまり具体的なものとはいえませんでした。

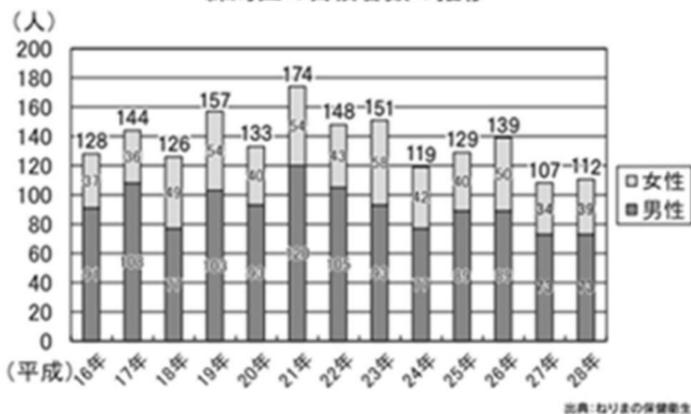
国や都の計画を待つだけではなく、区として早急な課題の整理が求められると考えます。今後機会あるたびに改善を求めていきたいと考えています。

(自殺対策に関する今回の質問のより詳細な内容はブログに3回に分けて載せていますので、ぜひそちらもご覧ください。)

【一般質問でかとうき桜子が聞いた内容の概要】

- 練馬区の自殺の実態に対する区の認識を改めて聞かせてください。
- 自殺を未然に防止するために自殺未遂者支援として医療機関との連携が必要だが、今まではどのように考えてきたのですか。今後どのように進めていくのですか。
- 自殺防止の観点からの精神科病院との連携についても、今までどのように行ってきたか、また今後はどのように取り組むのですか。
- 足立区の「つなぐシート」の取り組みを練馬区でも取り入れるべきではないか。
- 生活困窮者自立支援の担当との部署間連携はどのように進めていくか。
- 生活困窮者支援に従事する者に対する自殺対策の観点の研修はどのように行なうか。
- 自殺対策の観点で行なった支援活動のケース検討をし、今後の体制に活かす必要があるが、どのように進めるか。
- 介護従事者に対する自殺対策の研修の実施状況は。
- 「支援者の支援」はどのように取り組むか。
- ゲートキーパー養成講座のこれまでの実施状況の説明を。
- ゲートキーパー養成講座を今後どのように充実させていくか。
- 啓発をどのように充実させていくか。
- 図書館等、区立施設に困ったときの相談先が分かる各種リーフレットを設置し、どのような種類のリーフレットが一番持ってってもらえるかを分析することで、その後のその地域の対策につなげては。
- 学校における取り組みについて、前回私が行なった一般質問の際に答弁した内容（教員への研修等）を現在どのように取り組んでいるのか。
- 学校における取り組みについての東京都との連携の考え方は。
- 遺族支援はこれまでどのように取り組んできたか。また今後の考えは。
- 自殺対策の今後の進め方について、東京都の動きをどのように聞いているか。それを受けて、区としてはどのように計画策定に取り組むか。
- 今後実施されるトップセミナーには区長は参加する考えがあるか。

練馬区の自殺者数の推移



←練馬区の「ゲートキーパー手帳」より